



	(3) ワークショップの概要(案)について(資料2) (4) 岩倉市五条川小学校区統合保育園建設候補地の概要について(資料3)
公開・非公開の別	■公開 □非公開
傍聴者数	7人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
1	あいさつ ・鎌倉博委員長よりあいさつ ・議論内容の確認
2	議題 (1) 統合保育園及び子ども発達支援施設の基本構想策定に関するアンケート結果について 【資料1-1から資料1-4、保育園アンケート結果比較資料(以下、アンケート比較資料)に基づき、事務局から特徴を説明】  委員長: 保育内容や地域との関わり、療育など満足度が高い事がみられる。 また通園や駐車場、安全に関心が高いようにみられる。 保護者と保育士の違いもアンケート比較資料で見えてくる。  委員長: 私立園に抱いているイメージの項目は、どちらともいえないとの回答が多い箇所があるが、おそらく良く判らないためだと考えられる。補足はあるか。 委員: やはり内情が分かりにくいという結果だと思う。今後IT活用など私立園の情報発信に力を入れていきたい。 副委員長: 公立園の実状が良く分かる結果になっている。 休日に園庭を利用したい保護者が多い事が分かる。また、保育士は日常の育児相談などに関心が高い。 一方で私立園についても施設や特色のある教育といった部分が認知されていることが分かり、良さが表れる結果となっている。  委員: 入園調整は年度によって増えたり、少ない時はあるのか。 委員: 年度によって同じ園に集中する事があるが、概ね1割程が希望に沿えないことがある。ほとんどが第3希望園までに入れる。  委員: あゆみの家のアンケート結果でプールに関する記述が無い。ヒアリングでも意見があったと思うが記載されないのか。

事務局：アンケートの自由記述は、省略抜粋して掲載している。

プールについての要望があったことは、今回の議事録に記載する。

委員：保護者と保育士アンケートを比較すると、保護者は育児相談機能に関心があり、保育士は保育士の人数や室内環境に関心が高いように感じた。

(2) 基本構想の素案を作成するための重点項目（運営面・施設面）について  
《各運営方式、議論の前段として比較資料や各運営方式に対する意見や疑問点など》

委員：運営比較資料をみると、財政面は無視できないとみれる。財政面が中心で、子どもの最善の利益という面が薄いと感じる。

一般財源があると思うが、図2)の公設公営の表記ですべて市の負担とするのは誤解を与えるのではないのか。

事務局：財源の比較について一般的に言われるものを資料としており、全国的にこの類の説明に使われる表現としている。

交付税については、保育に限定された予算ではなく細かい数字の表現は難しい。

委員長：民営方式の参考として、地域に根付いた私立が参入する形で受け入れる自治体もある。一方で、地域との関わりがない民間が参入する事もあり、民営のやり方についても様々である。

委員：民間では加配保育が行われにくいというイメージがあるが、決してそうではなく、小牧や名古屋など民間でも行われているところは多い。

また、地元根付いた私立ということだと、北名古屋市では公立の建物を利用し民間が保育を行っているし、小牧市でも公立園を使って民間が保育を実施していることが実際にあった。

この委員会で運営方針などを決定する責任を重く感じており、委員会での話し合いだけでなく、父母の会が実施したアンケートなど、他の保護者の意見も反映した検討委員会にしたい。

委員長：北名古屋市では現在保育園を統合して2つのこども園がつけられた。

2園とも運営を地元の幼稚園を経営している民間が行っており、公設民営で行われている。

委員：支援児父母の会の保護者意見では、市内の私立園では加配保育を行っている所が少ない為、公立園しか選択肢がない。

運営が公立・私立のどちらいうよりも保育の質、内容がどちらも変わらないようにして頂きたい。

委員：公立から私立への引継ぎという点について、アンケート結果を見る限り現在の公立

園では、職員と子どもの関係が良い事が分かる。運営方式を変更した場合、現在の先生は継続してもらえるのか。

事務局：現在の職員は市正規職員と会計年度任用職員の2種類ある。職員は他の公立園へ人事異動で変わることになると考えられる。会計年度任用職員については確定した回答はできない。

委員：この運営比較資料見る限り、コスト的には民営でないと厳しいのではないかと思えてしまう。仮に民営にするのであれば現在の保育士の継続や市のフォローなどをお願いしたい。

ベテランの保育士の方が安心感があり頼れる。

また、民営にした場合に、運営方針に問題があった場合、市から運営方針に意見をいう事は可能なのが不安である。

事務局：比較資料について、コスト面に関する資料を出すことで、公立による運営は難しいということを表したいわけではなく、できる限り客観的な事実を示すように心掛けて作成した。また、仮に民営化の方針となった場合に、民間の事業者の選定まで全てこの委員会で決定するわけではない。運営等は最終的に市が決定するが、この委員会は、決定する上での重要な市民の意見をいただく場である。

副委員長：このような議題で検討委員会が開かれることは、全国的に見ても非常にまれなケースである。他の自治体などは、公立園の民営化は行政のみで決定する事が多い。岩倉市は現状のニーズを聞いて議論する場がある。

この運営比較資料から民営化が確実ということではない。

また民営の場合は、引き継ぎ保育はどの園・療育でも課題となっている。

委員長：資料が公平であるかは事前に事務局から相談・確認を受けている。どの自治体も財政的には厳しく、その点から補助についての表現はどの自治体でも似た資料になる傾向がある。

#### 《各運営方式、公設公営・公設民営・民設民営に対する委員の評価》

委員：15年以上前のことだが、保育園民営化の話があった。当時、江南市が民営化した園があり見学にも行き勉強をした。他の保護者に勉強したことなどを説明することの難しさを感じた。

保護者には、この委員会で話し合ったことが誤解のないように情報提供できるようにしなくてはいけない。

江南市の事例については、追跡で調べているが、先生が一気に変わって、公営から民営への引継ぎの難しさを感じた。

子どもだけでなく親にとっても良い園になるようにしたい。

委員長：議論を整理する意味で、まずは運営方針についての考えを先にご発言いただいでか

ら説明いただくこととしたい。

委員：公設公営が良い。

民営化のメリットが財政面しか見られない。法人や園の特色があるよりも普通の保育園で良いと思う。保育内容の満足度も高く、安心して預けられる現状の保育内容を維持した保育園が良い。

委員：公設公営が良い。

父母の会のアンケートでも 62.9%（前回の委員会で 61%と伝えていたが、修正をしたい。）が公立を希望しており、公設公営がよい。

公立であれば加配保育が維持される可能性も高いと考える。

また、保育園と児童発達支援施設の連携という面においても、比較資料に保育園と児童発達支援施設が同一であることが望ましいとの記載もある。公的保育の継続と岩倉の保育の継続をお願いしたい。

布団などの荷物を持つことなく手ぶらで預けられたり、おむつを捨ててもらえたり、習い事も実施してもらえたり、民間の良さは十分に理解しているが、移行した後これまで保育が維持されるか不安である。

運営方式に直接関係ないが名古屋市の一部では、公立・私立の園長先生が会合を開き意見交換を行っている。このような公立・私立の連携はとても良いと思うし、それぞれの良さが活かされるとよい。

委員：公設公営が良い。

支援児父母の会も公立公営を希望しており、保育園が完成した後、現状通っている子どもの保育がそのまま継続できるか不安である。

あゆみの家との連携がこれまでどおり図ることができるのかわからない。

民営になることで、今までどおり保育園に通えなくなってしまうのではないかとという不安もある。

委員：公設公営が良い。

幼稚園に預けた経験があり、子ども目線で考えると、子どもに対し情熱持って接して頂くことができ、のびのびと個性を尊重した保育をして頂けた。

一方で、親目線で考えると、先生の入れ替わりが多く、若い先生が多い為育児相談をしにくいと感じた。今後の人材確保を考えると、公立園の方が先生も産休確保など働きやすいのではないかと考える。

委員：公設公営が良い

民営化した場合、公営から体制が移行する期間が発生することで、保育園の中で引継ぎによる問題が発生してしまう可能性があり、たとえその期間が少なかったとしても、その期間内に入った子どもたちに影響が出てしまうのであれば、公立園が良い。幼稚園には加配保育が少ない。

委員長：意見を聞く限り公設公営を望む方が多いが、他の意見は何かあるか。

事務局：先ほどの公立・私立の連携について補足説明すると、岩倉では平成23年度に「就学前児童の幼稚園と保育園のあり方基本方針」を策定しており、現在は毎月1回、公立・私立の園長が園長会を開き意見交換をしており、担当保育士レベルでも年齢などに応じたカリキュラムの打ち合わせを行っている。

療育支援事業を行うあゆみの家では、療育支援のやり方を検討したり、実践したりしているが、その中に小学校教諭や民間の保育士も参加している。

また、療育支援の専門の人を呼ぶ講演会も行っており、公私問わず参加者を募るなど、岩倉市でも公立と私立のコミュニケーションの場を設けている。

仮に民間になった場合は、市が民間に対し、必要な事業をお願いすることとなる。

委員：保育内容が良くなるのであれば民営でも良い。

環境が良くなったり、建物がきれいになったり、習い事ができる機会が増えることは良いことだと思う。もっといい環境で子育てできるのであれば、民営でも良い。公立はやることに限りがあり、民営にも魅力を感じている。

気になるのは公立園から私立園に替わる場合、親の負担はどれほど変わるのか。制服がある場合買い替える必要があるのか。

事務局：保育料については変わらない。費用面で大きく差が出るのは制服等の用品であるが、制服などについては、保育園で制服がある場所はあまり例がないように思う。その為、仮に民営化したとしても制服を起用する可能性は低いので、影響はほとんど無いと考える。

#### 《議題（2）のまとめ》

今後こういったケースがあった場合は、市の財政状況やその年の保護者のニーズの変化に応じて決めていくこととなるが、今回の五条川小学校区統合保育園については、公設公営がよいという方針で一致した。

#### 《基本構想を策定する為の補足意見》

委員：保育士アンケートの意見も適切に取り入れて頂きたい。

委員：肢体不自由の子どももいる為、階段のない段差の少ない園にしてほしい。

手摺、エレベータを設置して頂けるとありがたい。

敏感な子どもに対して、落ち着ける部屋や静養室などを設けて欲しい。

委員：天然素材を使用して欲しい意見が多い事がアンケートで分かる。木質化など補助金を活用してはどうか。

また、子どもや子育て世代に対しての福祉避難所となる園にしたい。

委員：雨の日に玄関が狭い為、靴を脱ぐのに濡れながら待つ場合がある。広い玄関スペースにして頂きたい。

嗅覚過敏の子どもがいる為、臭いが強い植栽は植えないで頂きたい。  
プレイルームの一面に静養スペースがあっても良いのではないかと。

【参考】11月4日にあゆみの家においてヒアリングを行った際に利用者から出された意見

- ・東小学校が今は散歩で通うことができ、校庭も使わせてもらっている。今後も足腰を鍛えるような取り組みができるとうい。
- ・部屋数が多くなく、子どもの突発的な動きに対応できるような部屋の作りがよい。
- ・園庭が欲しい。園庭の利用範囲に制限をつけるのであれば、単独で欲しいが、そういった制限がないのであれば、一緒でもよい。
- ・現在のあゆみの家は玄関が狭いので、あゆみの家に入りやすく、外へ飛び出しにくい構造だとよい。
- ・子どもに水を慣れさせる、経験させるという意味であゆみの家専用のプールが欲しい。

### (3) ワークショップ（以下、WS）について

【資料2に基づき事務局から説明】

定員：概ね30人程度

日時：令和4年12月17日（土）午前10時～正午

場所：総合体育文化センター 会議室・研修室（託児あり）

周知方法：市ホームページ、いわくらっこ安心メール、ほっと情報メール

L I N E

委員：保育園には紙の配布の方が周知されやすいのでは。

事務局：いわくらっこ安心メールは保護者全員登録しているのでメールで十分に周知可能と考えている。

委員：参加者はだれでも参加可能なのか。今の保育園利用者よりも今後、保育園を利用する事になる方々に参加してもらおうと良いのではないかと。

保健センターや小児科に掲載など、周知方法は分かりやすいようにして頂きたい。

保育士さんは特に参加して頂きたい。

事務局：市内在住であれば制限を設けるつもりはない。

周知方法は保健センターなどに相談する。

委員：検討委員はWSに参加可能なのか、それとも見学のみなのか

事務局：検討委員以外の意見を聞く場という目的もある為、参加は遠慮いただきたいが見学は可能。ただし会議の報酬対象にはならない点は了承頂きたい。

### (4) 建設候補地について

**【資料 3 に基づき事務局が説明】**

候補地域：井上町

面積：約 3,000 m<sup>2</sup>

3 その他

(1) その他

なし

次回：令和 5 年 1 月 6 日（金）午前 10 時～正午

以上で、検討委員会を終了する。